



◆【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】

◆ 第88号 平成25年2月20日発行



このメールは本会HPより登録された方々へ配信させていただいております。

配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数:4,563 件

*****☆目次☆*****

【1】<特集> 障がいのある人のスポーツを支えるクラブ

- 専門のNPO 法人に依頼し定期的な活動を実現
～東深沢スポーツ・文化クラブ(東京都世田谷区)の事例～
- ふれあいはスポーツが一番。誰もが参加できるクラブづくり
～NPO 法人スマイルクラブ(千葉県柏市)の事例～
- 陸上競技を中心に、障がい者と共に歩むクラブ
～NPO 法人桃太郎夢クラブ(岡山県岡山市)の事例～
- 「スポーツは1つ」を合言葉に地域で様々な交流を展開
～大分県における障がい者とクラブの活動交流の事例～

【2】若手クラブ仕事人の夢メッセージ

(野口穂波さん、藤井翠さん、藤原絵理子さん)

【3】わがクラブの人気プログラム「ラフティング」

～Doスポーツ(鳥取県日野郡日野町)～

【4】東日本大震災被災地 応援情報

- 福島県の中・高校生を静岡県に招待して交流
～平成 24 年度福島招待バスケットボール大会～

【5】助成金情報 (申請締切 3月31日までのもの)

【6】メールマガジン次号(3月21日)の予告

★お知らせ★

- スポーツ指導における暴力根絶に向けた日本体育協会の取組み
- ブロック別クラブミーティング報告(北海道、四国)
- シンポジウム「スポーツツーリズムとスポーツによるまちづくり」
(3月4日開催)

- 笹川スポーツ財団 SSF セミナー2013SPRING「スポーツとまちづくり開催」
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします！
- あくしゅ、あいさつ、ありがとう
～フェアプレイで日本を元気に！～キャンペーン
- 公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

【1】<特集> 障がいのある人のスポーツを支えるクラブ



■総合型地域スポーツクラブは、老若男女、障がいの有無にかかわらず誰でもスポーツに親しむことができる場所です。

問題意識はあっても障がい者のスポーツには踏み出せないクラブが多い中、専門のNPO法人に依頼してプログラムを実施したり、クラブの交流イベントを通して一緒にスポーツ体験をしたりするなどの事例を紹介します。

パラリンピックにも出場したトップアスリートがクラブで行う様々な試み事例や、10年以上継続している実績が認められ「博報賞(文部科学大臣奨励賞)」と「保健文化賞」(第一生命)を受賞した事例もあります。

障がいのある人のスポーツを支えるために、クラブができることは、いろいろあります。ぜひ、ご覧ください！

▼専門のNPO法人に依頼し定期的な活動を実現

～東深沢スポーツ・文化クラブ(東京都世田谷区)の事例～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/2.tokushu_tokyo.pdf

▼ふれあいはスポーツが一番。誰もが参加できるクラブづくり

～NPO法人スマイルクラブ(千葉県柏市)の事例～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/2.tokushu_chiba.pdf

▼陸上競技を中心に、障がい者と共に歩むクラブ

～NPO 法人桃太郎夢クラブ(岡山県岡山市)の事例～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/2.tokushu_okayama.pdf

▼「スポーツは1つ」を合言葉に地域で様々な交流を展開

～大分県における障がい者とクラブの活動交流の事例～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/2.tokushu_oita.pdf

【2】若手クラブ仕事人の夢メッセージ

(野口穂波さん、藤井翠さん、藤原絵理子さん)



◆総合型クラブの仕事を本業としている若者を紹介する連載です。
若さは実年齢と関係ありませんが、ここではおよそ 35 歳以下。

今月は「NPO 法人東宇治スポーツクラブ」(京都府宇治市)で働く
20 代女性 3 名を紹介します。野口穂波さん(クラブマネジャー)、
藤井翠さん(サブマネジャー)、藤原絵理子さん(事務局員)は、
3 人とも同じ中学校の同級生。小学校や高校が同じ時もありました。

野口さんの祖母がクラブの副理事を、また母親がクラブマネジャー
をしていたため、野口さんは高校時代からクラブに関わるよう
になりました。その後、イベントが開催される時に、藤井さんと藤原
さんを誘い、2 人ともクラブのスタッフとして協力するようになり、
今の形になりました。

「若さは最大の強みでもあり最大の弱みでもある。しっかりとした
運営力とパワーを兼ね備えた力強いクラブを目指したい」など、
各々の抱負を語っています。

「夢」は、3 人とも、家族愛いっぱい家庭を築くこと。そして

いつまでも「ずっと仲よし」でいたい、とのことです。

ぜひ、ご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/2.young_worker_kyoto.pdf

【3】わがクラブの人気プログラム「ラフティング」

(Doスポーツ 鳥取県日野郡日野町)



■平成 23 年 6 月から連載している「わがクラブの人気プログラム」では、人気のある(人が集まる、好評である、など)プログラムをその魅力や人気のポイントも含めて、隔月で紹介しています。

日野町は地元の川を活かした「ラフティング」が有名。県外からも多くの方が体験に来ています。ラフティングとは、ゴムボートを使用し川くだりをするレジャースポーツです。

何よりラフティングの魅力は、ちょっとしたスリルも体験しつつ、水面から周りの景色や空を見ることで自然と一体になり、水しぶきを浴びながら激流を下っていく、何とも言えない爽快感です。

「自然の中でスポーツするのは、ストレス解消にはとってもいい」と参加者からも大好評です。ぜひ、ご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/2.popular_program.pdf

【4】東日本大震災被災地 応援情報



◆3月11日の東日本大震災から2年近く経ちました。震災前の生活から一変した被災地では、今も大変な状況が続いています。

●福島県の中・高校生を静岡県に招待して交流

～平成24年度福島招待バスケットボール大会～

清水スポーツクラブ(静岡県清水市)は、24時間チャリティバスケットボール大会を行うなど、以前よりバスケットボールでチャリティ活動を行っているクラブです。

平成24年度は、福島県でバスケットボールをしている中学生・高校生を静岡に招待して、クラブとの交流会を開きました。

久しぶりにバスケットボールに触ることができた生徒も、勝負を度外視して本当にうれしそうに楽しそうにバスケットボールをしていました。

「同じスポーツを愛好するものとして、遠くはなれていても、絶対忘れることなく、皆さんを応援させていただきます」とのメッセージは伝えることができたそうです。ぜひご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/2.tohoku_aid_shizuoka.pdf

【5】助成金情報(申込締切 3月31日までのもの)

▼公益財団法人公益推進協会「夢屋 子ども夢基金」募集(3月7日必着、資料郵送の場合は当日消印有効)

(法人格取得後、1年以上の活動実績のある団体対象)

http://kosuikyo.com/夢屋_子ども夢基金のご案内

▼公益財団法人公益推進協会「夢屋 災害救済ゆめ基金」募集(3月7日必着、

資料郵送の場合は当日消印有効)

(法人格取得後、1年以上の活動実績のある団体対象)

http://kosuikyo.com/夢屋_災害救援ゆめ基金のご案内

▼2013年度(第11回)ドコモ市民活動団体への助成(NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド)(3月29日必着)

(法人格を有する団体、または取得申請中の団体で7月末までに法人登記が完了見込みの団体、活動実績が2年以上であること[法人格を有する以前の活動実績を含む])

<http://www.mcfund.or.jp/admission/action.html>

▼「LUSHチャリティバンク」助成(株式会社ラッシュジャパン)

東日本大震災復興支援活動(毎月月末が応募締切、当日消印有効)

<http://www.lushjapan.com/ethical/charitybank/>

[6]メールマガジン次号の予告

<特集> 地域を巻き込むイベントやツール(仮題)

<連載> アドバイザーのおススメ・クラブ

東日本大震災被災地応援情報 ほか

■発行予定日:平成25年3月21日(木)

◆◇お知らせ◇◆

●スポーツ指導における暴力根絶に向けた日本体育協会の取組み

皆さんもご存じの通り、高校運動部活動における体罰問題や柔道ナショナルチームにおける暴力行為等、スポーツ指導現場における暴力行為やパワーハラスメント等が数多く報道されています。

日本体育協会では、今般の事態を真摯に受け止め、本会加盟団体をはじめとする皆さんと連携・協力して、スポーツ指導現場における暴力行為の根絶に努める所存であり、以下のとおり、メッセージを発信しました。

総合型クラブで活動されている皆さんにおかれましても、スポーツ指導現場における暴力行為等を根絶し、多くのスポーツ愛好者が「安全に、楽しく」スポーツに親しめるよう、ますますのご尽力をお願いします。

▼スポーツ指導における暴力根絶に向けた本会の取組みについては
こちらから

スポーツ指導現場における暴力根絶について～公認スポーツ指導者の皆様へのメッセージ

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid/81/Default.aspx?itemid=2586>

加盟(準加盟及び協力)団体へのスポーツ指導における暴力根絶への対応に関する通知について

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2584>

「指導者のためのスポーツジャーナル」2009年冬号特集『さよなら、体罰』

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/sportsjournal2009winter.pdf>

公益財団法人日本体育協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/about/pdf/plan02.pdf>

▼去る2月5日に下村文部科学大臣から「スポーツ指導における暴力根絶に向けて」が発信されました。

スポーツ指導における暴力根絶へ向けて～文部科学大臣メッセージ～

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho_kyanpen/news/20130207daizinmessage.pdf

.....
.....

●ブロック別クラブミーティング報告(北海道、四国)

平成 24 年の 10 月～12 月において、全国でブロック別クラブミーティング
2012 が順次開催されました。各地での活発な情報交換や話し合いが行われ
た内容をご報告します。ぜひご覧ください！

▼北海道ブロック:11 月 24 日(土)、25(日)

於:北海道立総合体育センター「北海きたえ〜る」

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/Event%20Information/ClubMtg/H24/hokkaido_report.pdf

▼四国ブロック:12 月 1 日(土)、2(日)

於:高知県教育センター分館

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/Event%20Information/ClubMtg/H24/shikoku_report.pdf

●シンポジウム「スポーツツーリズムとスポーツによるまちづくり」

【日 時】3 月 4 日(月)15:00～18:00

【場 所】スタジアムプレイス青山 8 階 801 室

〒107-0061 東京都港区北青山 2-9-5

<http://www.sp-aoyama.jp/access/>

【プログラム】

15:00 開会

15:10～15:50 講演 スポーツツーリズムの推進について

講師 加藤 隆司 氏(国土交通省観光庁 審議官)

16:00～16:20 『第1回 スポーツ振興賞』授賞式

16:20～18:00 スポーツ振興賞受賞者による発表

◎スポーツツーリズム賞

国土交通省観光庁 長官賞

日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

◎スポーツとまちづくり賞

経済産業省商務情報政策局長賞

日本商工会議所 奨励賞

スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

【参加費】2,000 円 (参加費は当日払い)

【申込締切】2月28日(木)

【問い合わせ】TEL:03-6434-9510

▼詳しくはこちらから

<http://www.jsif.or.jp/>

.....
.....

●笹川スポーツ財団 SSF セミナー2013 SPRING「スポーツとまちづくり」開催

笹川スポーツ財団(SSF)では、このたび、「スポーツとまちづくり」をテーマとして、下記のとおり、セミナーを開催いたします。

本セミナーでは、2011年3月11日の東日本大震災で被災した自治体の現状を少しでも知ってもらい、今後の復興に「スポーツ」で何ができるのか、スポーツに期待される役割などについて、皆様と共に考える場としたいと考えております。

基調講演には、SSFがコーディネートするチャレンジデー実施自治体でもある宮城県東松島市より、阿部秀保市長をお迎えします。また当日は、自治体、総合型地域スポーツクラブ、アスリートの立場でスポーツを通じた復興支援に携わる専門家によるパネルディスカッションを予定しています。皆様、奮ってご参加ください。

日時:2013年3月19日(火)18:00~20:00

場所:アーク森ビル 37階クラブルーム

(東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階)

参加費:無料(定員100名:先着順)

申込方法:以下URLからお願いします

http://www.ssf.or.jp/seminar/seminar_130111.html

定員に達した場合は、事前に締め切ることがございます。

ご了承ください。

.....

.....
●2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致に
ご協力をお願いします！

東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会では、現在、20
20 年オリンピック・パラリンピック競技大会を東京で開催すべく、
各所で招致活動を行っていることは皆さんご存じの通りです。

9 月 7 日にブエノスアイレスで開催される国際オリンピック委員会(I
OC)総会における開催都市決定まで遂に 200 日を切りました！
既に 1 月に立候補ファイルが IOC へ提出されており、来る 3 月 4 日
-7 日には、IOC 評価委員会による各立候補都市視察が行われます。

日本がひとつとなって、これまで以上に招致活動を盛り上げるために、
皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。
(twitter、facebook 等もご活用ください)

▼2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会
ホームページはこちらから(貴クラブのホームページにリンク
いただくなど、ご協力をお願いいたします)

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

.....
.....
●あくしゅ、あいさつ、ありがとう
～ フェアプレイで日本を元気に！ ～キャンペーン

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、
スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、
日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」
キャンペーンを実施中で、専用 WEB サイトも公開しています。

おかげさまで本会加盟団体や総合型クラブ関係者・全国の指導者・
少年団関係者をはじめ多くの共感の声をいただき、サイト
公開後、「フェアプレイ宣言者」が約 9,800 名になりました。
これもひとえに皆様のご理解のおかげと深く感謝しています。

2016 年までにはフェアプレイ宣言者 100 万人を目指しています。
まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひ専用 WEB サイト上
でフェアプレイ宣言をお願いします。

なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと宣言書のダウンロード
ができ、各種画像データをご自身のブログ等でもご利用いただけます。
ぜひご利用ください。

▼フェアプレイ宣言等、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

.....
.....

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。
おかげさまで、現在約 4,500 の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも
関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。
個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を
周りの方にお勧めください。よろしく願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1)日本体育協会 HP のトップページの中央にある
「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2)下段の「メールマガジン」をクリック
- 3)「登録・退会」をクリック
- 4)「登録する」をクリック
- 5)登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6)登録確認画面へ(完了)

▼メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。

周りの人にもぜひ登録をオススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) Japan Sports Association. All rights reserved